

所 属
放射線部 TV 室
職 名
放射線技師
氏 名
木村敦

研究課題名

検診胃部 X 線検査における受診者被ばく線量の比較・検討

課題について

・概要、背景、目的

2023 年 5 月に機器更新により **Dose-Manager** で X 線照射線量レポートを表示できるようになった。1 受診者毎に被ばく線量の管理が可能となった
それを利用し、健診における上部消化管 X 線検査の受診者の被ばくが増加する因子を明らかにし、被ばく低減の対策を検討する。

・研究方法（内容、方法の選択肢、方針、基準を含む）

放射線部システムと検診システムから担当技師、透視時間や面積線量等の被ばく線量、受診者身体測定項目(身長体重、性別、年齢)、受診歴や技師判定結果を収集
取得した両データを紐付けし、線量と相関する項目を検討した
t 検定を用いて有意差があるか分析した

データ収集期間：2024/1/4～2024/6/28

データは匿名化し使用する

・インフォームドコンセントの取得方法

受診者毎に予防医療センターで同意書を受診時に取得済み

・予想される成果・リスクおよびその社会的な意義

今後、受診者の被ばく低減に寄与する可能性がある

・被験者に対する配慮（予想される被験者への危険や不利益、個人情報の保護の方法）

第 73 回 日本農村医学会学術総会の発表にあたり、以下の情報を使用します。

① 検診システム（Tac）より

- ・ 年齢
- ・ 身長
- ・ 体重
- ・ 検診受診回数
- ・ 読影判定結果

② 放射線部システム（F-Ris）より

- ・ 撮影条件・線量

いずれの情報も、匿名化し管理します。

研究期間

～2024 年 10 月 15 日

第 73 回 日本農村医学会学術総会の発表に使用